

富医ニュース

No.614 令和4年9月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 藤岡 洋
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

第1回 外来感染症対策 カンファレンス開催

去る7月26日(火)、外来感染対策向上可算に伴う第1回富田林医師会外来感染症対策カンファレンスが医師会大会議室にて開催されました。医師会感染症対策委員長の藤岡雅司先生より、ワクチン予防可能疾患(VPD)の院内感染予防というタイトルで参加会員24名のなか、VPDとは？、ワクチンの果たしてきた役割(日本)は？、集団免疫能の高い状態での役割は？、適切な接種時期は？、など丁寧にお話しいただきました。今後、外来感染向上可算算定施設では年間2回以上の感染症対策カンファレンスや新興感染発生訓練への参加が必要です。(不定期ではございますが、奇数月の第4火曜日14時30分より予定いたしております。)ご参加の程よろしく願いいたします。【尚、南河内感染症対策ネットワーク主催、感染症対策研修会への参加も重ねてお願いいたします。】

新型コロナワクチン集団接種 ご協力をお願い

第7波の猛威の中、今回2回目のコロナ感染患者も数多く認められ、感染スパイラルの日々が続いております。

本国でも新型コロナワクチン接種は、4回目接種にとどまらず秋頃からの2価ワクチン接種も開始予定となっております。これらに伴い、本医師会管内での集団接種事業もなかなか先行きが見通せない状況です。

いずれにせよこれまで同様、医師会あげての総力が必要不可欠です。残暑厳しく、体調管理もままならぬ時節柄ではございますが、なお一層のご協力の程よろしく願いいたします。

調 整 日

7月分 8月8日(月)
PM3:00まで

8月分 9月8日(木)
PM3:00まで

9 月 の 予 定

- 8日(木)・調整日
 - ・学術講演会(WEB)
- 9日(金)・理事会 13:30～
- 12日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会
- 22日(木)・広報調査委員会
- 27日(火)・休日診療委員会
 - ・感染症対策委員会
 - ・広報調査委員会
(校正)



富田林医師会学術講演会 (ハイブリッド形式)

日時 令和4年9月8日(木) 14:00～15:00

会場 医師会 大会議室
オンライン(Zoom)

座長 やまもと整形外科医院 山本 善哉 先生
「脳卒中再発予防のための

シームレスな地域連携
～アテローム血栓性脳梗塞への新しい
治療選択肢エフィエントの関わり～」

演者 近畿大学病院 脳卒中センター

教授 大槻 俊輔 先生

※本会は大阪府医師会生涯教育制度「1.0単位」取得
カリキュラムコード「10・チーム医療」「73・慢性疾患・
複合疾患の管理」を申請中です。

富田林医師会学術講演会 (ハイブリッド形式)

日時 令和4年10月6日(木)

開催形態 会場参加：医師会 大会議室
オンライン参加：Zoom

特別講演 14:00～15:00

「ダパグリフロジンによるベスト心不全実地診
療の実践と高カリウム血症治療におけるジルコ
ニウムシクロケイ酸 Na への期待」

座長 天城医院 天城 完二 先生

演者 阪和病院・阪和記念病院

統括院長/総長 北風 政史 先生

心血管疾患は「心不全」という共通最終終末像に
集約されるが、わが国における心不全罹患数は増え
続けており、その増加は医学的にも社会的にも大きな
問題となっている。その心不全の病態として、心筋ア
ポトーシスなどによる心筋障害が大きく関与すること
が知られている。この心筋アポトーシスの抑制は、レニ
ン・アンジオテンシン・アルドステロン系、交感神経など

のAキナーゼやCキナーゼ活性化が関与することから、
ACE阻害薬、ARB、MRA、 β 遮断薬が心不全治療
薬として用いられてきたが、一昨年よりSGLT2阻害薬
であるフォシーガが心不全治療薬として加わった。フ
ォシーガは、他の心不全治療薬と異なり心不全の生
命予後と症状の2つを改善するため、その意義は非
常に大きい。

一方、実臨床において心不全治療に難渋する点は、
心不全自体および心不全治療薬による高カリウム血
症である。欧米の心不全ガイドラインによると、心不全
や慢性腎臓病(CKD)症例では血中カリウムレベル
が5.0mmol/Lを超えると死亡率が急激に高くなること
が記載されており、CKDを伴いやすい心不全診療に
注意を要する。日常臨床において心不全症例で高カ
リウム血症が出現すると、その原因となるACE阻害薬、
ARB、MRAや β 遮断薬を減量しがちであるが、かえっ
て心不全の予後を悪くする。ガイドラインではこのよ
うな状態では心不全治療薬減量ではなくロケルマのよ
うな高カリウム血症治療薬を用いるべきであるとされ
ている。ロケルマは、便秘を起こしにくくスムーズに高
カリウム血症を治療できるため、心不全治療の隠れた
武器となろう。本講演では最後に、基礎研究→臨床
研究→臨床応用という医学における通常のシナリオ
のみならず、医療ビッグデータ→AIを用いた数理的
解析→臨床研究→臨床応用というパラダイムシフトに
ついて触れたい。

※府医指定学校医制度、学校保健「単位1単位」申請中
大阪府医師会生涯教育カリキュラムコード「19・身体
機能の低下」1単位 申請中



富田林医師会管内 糖尿病性腎症重症化予防事業 事業説明会・研修会開催について

富田林医師会管内糖尿病性腎症重症化予防事業説明会・研修会が9月22日(木)午後8時30分より開催されます。

これまで富田林医師会では糖尿病、気管支喘息、大腸癌、そしてCKDについても意欲的に病診連携を進めてきましたが、どうしたわけか中央省庁においては「糖尿病性腎症に関する病診、行政との連携が遅れている」と判定されたようです。

会員各位におかれましては現在運用中の「CKD地域連携パス」などを通して、すでに十分にご理解をいただいているものとは思われますが、この機会に糖尿病性腎症への最新の知見を共有し、また事業への理解を深め、糖尿病性腎症の重症化予防に一層努めていただきたいと存じます。コロナ対応をはじめ、日々ご多忙の中ですが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

(文責:仲谷)

日時 令和4年9月22日(木) 08:30~09:30

場所 医師会 大会議室

内容 1) 講義「糖尿病性腎症の最新治療、かかりつけ医と専門医の連携」

講師:富田林病院 血液浄化センター長
兼腎臓内科部長 米田 雅美 先生

2) 事業説明会「富田林医師会管内市町村糖尿病性腎症重症化予防事業」

説明者:管内市町村担当者または保健所担当者

3) 質疑応答

申込み 申込み票に記入の上、FAXまたはメールにて下記問い合わせ先まで送付

富田林保健所 企画調整課

TEL:0721-23-2681

FAX:0721-24-7940

E-mail:tondabayashihoken-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

バトンタッチ(第1回)

会員先生方の趣味、娯楽、仕事、医師会へのご意見などをバトンタッチしながら掲載していきたいと思っております。なんでもOK!なので、機会があればご投稿の程よろしくお願いたします。

(広報調査委員会)

ある夏の日の怖い話

【注意!!】 今まで、プロらしいやら、男らしいやら、言われたことがあまりない小生が、先日経験したおどろおどろしい残酷物語のご紹介です。女性会員や上品な先生方にはおすすりできない内容であり、読むことをお控えください。【注意!!】

あれっ? なんか首の後ろに触れたかな? ああ、白衣クリーニング後の糊が効きすぎてるんやろ。気にもとめず患者さんの胸に聴診器をあてるやいなや、右側腹部に蟻走感を感じた。右手は聴診器でふさがれており、左手で右側腹部の白衣を巾着状につかんだ。内心ギョッとしながら平静を装って患者さんに「じゃあ、お薬出しておきますね。」「お大事になさってください。」と言うやいなや左手がふさがれたまま、椅子から立ち上がり裏部屋にむかった。握りつぶした白衣の巾着部分を見ると、出血斑ばいシミが下着をとおりこしてにじんで見えた。素早く白衣をぬぎ捨てると、下着の巾着部のシミは赤茶色に染まりきっていた。痛みは全く感じておらず嫌な予感は的中。下着の内側からは足やら触角やら翅やらぐちゃぐちゃの白いものやら、えげつない木端微塵のGが姿を現した。ああムカデじゃなくてよかった。

身体を洗い、下着と白衣を着替えすぐさま診察室に戻り、一部始終を職員に話すと、Gの事には一切ふれず、その状態で一言も騒がず、聴診器をあてながら診療を続けたことに「さすが、プロ!」「凄いな!」「男らしい!」とGそっちのけで絶賛してもらった。二度と経験したくないが、ちょっとだけ誇らしく思えた怖い出来事でした。

(K.Amagi)

医師会理事就任挨拶

千早赤阪村国民健康保険診療所

新鞍 誠 先生

この度、富田林医師会理事に就任いたしました、千早赤阪村国民健康保険診療所の新鞍誠です。

2018年4月から、当診療所に勤務しております。日ごろより、藤岡洋会長をはじめ医師会理事の先生方、医師会会員の先生方に、千早赤阪村の地域医療にご協力頂きまして、大変ありがとうございます。

若輩者ですが、今後、医師会活動に微力ながら頑張ろうと思います。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナワクチン集団接種 慰労会のご案内

残暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は当会の運営にご協力いただき誠に有難うございます。

さて、2年間に渡り取り組んでまいりました集団接種も終盤を迎え、それに携わって頂いた皆様に慰労も兼ねましてお食事会を下記にて開催したいと思います。

つきましては、準備の都合上出欠のお返事を別紙にて9月9日(金)までに当会事務局まで、FAXにてお返事くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和4年10月15日(土) 18時～21時
場所 スイスホテル南海大阪 8階 浪華の間
TEL:06-6646-5039

麻薬年間届の提出について

今回提出用の「麻薬年間届」の用紙を当会BOXに入れてありますのでお持ち帰りください。昨年10月1日から今年9月30日までの動きの報告ですので、提出は10月1日以降**10月14日(金)**迄に、医師会事務局へお願いします。

8月行事・会合

2日(火)・休日診療委員会

8日(月)・調整日

・訪問看護ステーション運営委員会

11日(祝)

・事務所夏季休暇

16日(火)

23日(火)・広報調査委員会

26日(金)・広報調査委員会(校正)

30日(火)・休日診療委員会



○会員数(9月1日現在) 172名

A会員 94名 B会員 77名 C会員 1名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文